

## 議 事 録【速報版】

令和5年度 第4回水道事業経営審議会			作成者	経営管理課 猪飼
日 時	令和5年10月13日(金) 13:30～16:35	場 所	研修センター	
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道事業経営審議会委員(7名)</li> <li>・水道事業管理者</li> <li>・総務部長、技術部長</li> <li>・各課所属長</li> <li>・事務局:経営管理課</li> </ul>			
<p><b>1 委嘱状の交付</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道事業管理者より、10月1日付け委嘱の委員へ委嘱状を交付(6名)</li> </ul> <p><b>2 水道事業管理者挨拶</b></p> <p><b>3 会長・副会長の選出</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の互選により会長・副会長を選出 (会長:佐伯 竜彦委員 副会長:山下 功委員)</li> </ul> <p><b>4 諮問</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道事業管理者より経営審議会会長へ 「水道事業を後世に引き継ぐための水道料金の改定について」諮問</li> </ul> <p><b>5 令和4年度水道事業会計決算について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経理課長より令和4年度水道事業会計決算について報告</li> </ul> <p>Q 貸借対照表(BS)について、令和4年度の場合だと令和3年度を併記することが好ましいと思う。</p> <p>A 次回、令和3年度を併記した資料を提出する。</p> <p><b>6 水道事業を後世に引き継ぐための水道料金の改定について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営管理課及び計画整備課より、水道料金の改定について説明後 審議会委員内での検討</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>検討結果:「今後の水道料金の改定について」討議結果 参照</b></p> <p>～検討内容等～</p> <p>◎「資料2-1 水道料金の改定について 検討スケジュールと会議の進め方」</p> <p>◎「資料2-2 水道料金改定の検討について」</p> <p>Q① いろいろな見込の中で、例えば人口の推移などは高位・中位・低位どのあたりの数値を採用しているか？</p> <p>② 併せて、損益の数値を出しているがその数値は厳しめか少し余裕のある数値か？</p> <p>A①② 新潟市総合計画2030の人口予測を使用しているのでふり幅はない。</p> <p>Q③ 物価上昇は見込んでいるか？</p> <p>A③ 政府が使用している物価上昇0.6%を参考に一部事業費に見込んで試算している。</p>				

- Q④ 政令市との比較があるが、人口規模や地形など条件によって状況が違うと思うが、新潟市に近い政令市はどこか？
- A④ 岡山市が新潟市と同じような条件だと思われる。
- Q⑤ 管路更新率の推移で、H27年度は全国平均とあまり乖離がないが、R3年度には大きく開きがある。工事費の高騰は全国的なものだと思うが、なぜ他都市と開きができるのか？
- A⑤ 新潟市は近年、基幹管路(口径の大きい管路)を優先して管路更新を行っているため、工事費の割に時間がかかるし更新延長は伸びない。  
また、新潟地震の復旧管路が新潟市の中心市街地に残っているため、交通確保のために夜間の工事が多くなるが、昼間の交通確保のため、夜間工事で掘った箇所を毎回埋戻し、道路を復旧する必要があるなど、通常の工事よりも時間も費用もかかる。  
このような理由から、工事費に対して更新延長は伸びないので、管路更新率については他都市と開きが出てくる。
- Q⑥ 現行料金比較で、φ13mm 水量20m<sup>3</sup>は一般家庭の平均値か？
- A⑥ 新潟市だと大学の学生などは使用水量が少ないので、一般家庭の平均はもう少し低いかもしれない。料金比較をするときの全国的な基準がφ13mm 水量20m<sup>3</sup>となっている。

◎「資料2-3 水道料金のしくみ」

◎「資料2-4 施設更新の需要と投資規模」

- Q① 管路の更新と施設の更新が毎年同時に行われるが、資金不足なのであれば、例えば管路の更新を優先し、施設の更新を後ろ倒しするなどの考えはないか？
- A① 浄水施設については、何万世帯もの水を作っているため、故障などで水が作れなくなると影響が大きくなるので、とても重要度が高い。管路についても同じく漏水が断水に繋がるため、きちんと更新を進める必要がある。よって、どちらかのみという訳にはいかない。
- Q② 施設や管路の更新費用については、料金改定をしても到底賄える金額とは思えないが、例えば管路の更新は補修をして延命するのではなく、すべて入替をするのか？
- A② 管路については土に埋まっているため内面と外面から腐食が有るので補修は難しい。  
また、補修しているとその工事期間断水しなければならないので、生活に支障をきたす。  
よって、更新対象の管路は全て入れ替えとなる。  
但し、水管橋のように埋まっていない管については補修を行いながら使用することもある。

◎「資料2-5 今後の水道料金の改定について」

検討事項

1. 「料金改定の必要性」

経営審議会意見集約:

●料金改定は必要

2. 「確保すべき資金残高の限度」

- Q① 資金残高を決めると値上げ幅が決まると思うが、25億円を下回ると資金がマイナスになるのか？
- A① 資金残高は年度末の値なので、提案の算定期間であると令和9年度末に25億円あれば令和10年度は支払ができるという試算。25億を下回ると支払が出来ない恐れがある。
- Q② ここでいう「資金」とは何を指すのか？
- A② 未収金・未払金全て勘案した金額(預金+未収金-未払金=25億円)
- Q③ 未収金・未払金の金額は毎年変わると思うが、今回は令和4年度を参考にしているのか？
- A③ 令和4年度を参考に試算しているが、毎年ほぼ同じくらいである。
- Q④ 余裕をもって資金残高を30億円に上げると改定率はかなり上がるか？
- A④ どのくらい上がるかは手元に資料が無いのでわからないが、資金が億単位で上がれば、改定率も高くなると思う。改定率を低く抑えるには資金残高を低い所で抑える必要がある。

Q⑤ ギリギリのラインで改定をして、又すぐに資金不足になり、R10年度に向けて改定を検討するのであれば、今回何パターンか用意していただいて検討したい。

A⑤ 次回、複数パターンの資料を用意する。

### 経営審議会意見集約:

#### ●最低資金残高は25億円を基本とし、更に高額のパターンも検討

### 3.「企業債の考え方」

Q① 充当率45%とあるが、この数字に縛られる必要があるか？

A① ここで提案したのは、「借金をしてでも改定率を抑える」という意見があるかもしれないので、今後企業債を減らすことが良いという意味確認をしたかった。

Q② 企業債を買ってくれるのはどのような人か？

A② 一部銀行もあるが、ほぼ国である。

#### 審議会意見

・将来的に収入が見込め、成長する企業などは借金をしても良いが、今後収入が減少していく中で借金に依存する経営は望ましくない。減らすべきだと思う

### 経営審議会意見集約:

#### ●長期的に縮減の方向

### 4.「料金改定時期」

### 経営審議会意見集約:

#### ●令和6年10月

### 5.「料金算定期間」

Q① 料金改定についての広報はどのように行うのか？

A① 現在、ホームページ及び水先案内に「水道料金の改定につて検討を進めます」と掲載している。料金改定の内容については、経営審議会で確認いただいた後に順次広報していく予定。経営審議会の資料についても、会議が終了したらホームページに掲載する予定。

#### 審議会意見

- ・新潟市の料金改定の原因を考えると管路の老朽化や浄配水施設など、長期的に関わるものが原因と考える。その証拠として修繕費や原価償却費が高くなっている。そういう事を考えると、3.5年ではまたすぐに料金改定を検討する必要があると思われるのでもう少し長い算定期間でも良いのではないか。
- ・将来的費用を考えると算定期間は長い方が良いが、お客さまの負担を考えると必要な分を少しずつ段階的に上げた方が良いので、3.5年は適切と考える。
- ・資金残高25億円、算定期間3.5年はギリギリのラインだと思う。であれば、改定率を低く抑えるためのギリギリラインであることをきちんと説明して、また改定があるかもしれないという事も、きちんとお知らせする事が大切だと思う。

### 経営審議会意見集約:

#### ●料金算定期間3.5年を基本とし、更に長期のパターンも検討

### 6「料金体系」

Q① 新潟市はφ20mmは家庭用ではないが、今回の改定で家庭用にする予定はあるか？

A① 検討する中でそういう意見も出ているが、今回料金を上げるにあたり、φ20mmを据え置いても結局他都市との比較は高いままである。

また、φ20mmの料金を下げると、他の口径のお客さまへの影響が高くなる。

そういった中で、検討をしなければならない。

今後、料金表の審議をしていく中でもご意見をいただきたいと思う。

Q② 新潟市で家庭用にφ20mmを付けている方はいるのか？どういった家に付くのか？

今後増えていくのか？

A② 家庭用でφ20mmは、マンションの高層階で直接水を送るところなどがある。

今後も増えていくものとする。

Q③ 新潟市は逡増度が低いが、逡増度を高くするという案もあるのか？

A③ 逡増度を上げると、今後、水の需要が減った時に使用量の多い方から減少していく。そうすると料金収入の減る割合が大きくなるので、逡増度は低い方が良い。

Q④ 例えばたくさん水を使う企業などを高い料金にして、一般の利用者を低い料金に抑えるという方法はどうか？

A④ 水需要が右肩上がりのような時はそのように設定したいが、現在はどんどん減少しているので、その設定をすると料金収入の減少影響が大きくなる。

#### 審議会意見

・現在φ13mmとφ16mmが家庭用と位置づけられているが、実際φ16mmは新規には取付けが出来ない。そういった中でφ20mmが家庭用として増えているのであれば、きちんと検討するべきだと思う。

#### 経営審議会意見集約:

●**現行の料金体系を継続**（φ20mmについては要検討）

◎「資料2-6 次回(R5.11.14)の審議予定概要」

#### その他審議会意見

・説明を受け、水道料金の中に水を作る費用だけでなく、施設の更新や修繕などの投資も含まれていることがわかった。ぜひ水先案内などできちんと広報していただきたい。

以上